

PICASSO

Ceramics: The Modern Touch

ピカソのセラミック—モダンに触れる



2022 10.25 TUE – 2023 9.24 SUN

[開館時間] 10:00 – 17:00 * 入館は閉館の30分前まで

[休館日] 月曜日 (ただし、月曜日が祝日の場合は開館)、年末年始

主催・会場：ヨックモックミュージアム

後援：港区教育委員会

特別協力：株式会社ヨックモック



公式サイト



Official Site





PICASSO

Ceramics: The Modern Touch

ヨックモックミュージアムのコレクションをさまざまな視点からご紹介する展覧会の第3弾として、「ピカソのセラミック—モダンに触れる」展を開催いたします。

ピカソと20世紀美術の代表的な研究者である河本真理氏（日本女子大学教授）を監修者にお迎えし、ピカソのセラミックの世界を、いま改めて「モダン」—言い換えれば「クラシック」と融合する「モダン」—の視点から読み解く、刺激的な展覧会です。



1. パブロ・ピカソ《泉》A.R.225 11-01-1954 / 2. パブロ・ピカソ《壺のある水差し》A.R.226 12-01-1954 / 3. パブロ・ピカソ《静物》A.R.219 1953 / 4. パブロ・ピカソ《3尾の鰻》A.R.34 1948 / 5. パブロ・ピカソ《踊り子》A.R.387 1956 / 6. パブロ・ピカソ《踊り子》A.R.388 1956 / 7. パブロ・ピカソ《踊り子と楽師たち》A.R.114 1950 / 8. パブロ・ピカソ《踊り子と楽師たち》A.R.114-B 1950
© 2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)

ピカソが第二次世界大戦後に傾倒したセラミックは、当館のこれまでの展覧会「ピカソ コート・ダジュールの生活」(2020-2021)や「地中海人ピカソ—神話的世界に遊ぶ」(2021-2022)でもご紹介したように、地中海世界の神話や古代美術への接近、陶芸の伝統との関わりといった観点から語られることが多いといえます。これは確かに、ピカソのセラミックの重要な特徴をなしています。



その一方でピカソは、セラミックにおいてもキュビズム的な静物や顔をデザインし、コラージュやオブジェのように、現実と虚構の狭間を戯れてみせました。ピカソが若かりし頃に創造したキュビズムは、ピカソのセラミックにおいてもずっと生きていたのです。



ピカソはまた、「壺の中の壺」を作ってみたり、メタモルフォーズの力で、壺を女性にも（抽象的な）鳥にも変容させてみたり……さらには、どちらかといえば、どっしりとしたイメージの強いセラミックで、ダンスなどの軽やかな動きを表そうとします。美術におけるダンス／運動の表現は、もちろん古代からあり、古くて新しいテーマといえますが、ピカソは踊り子を極度に単純化・記号化するなど、彼独自のモダンな再解釈を際立たせています。

催事案内

記念講演会、ギャラリートーク、ラーニングプログラム「ピカソ deアート」、学校連携プログラム等を開催します。

最新情報
随時更新中



チケット（税込）

一般	学生	小学生以下
¥1,200	¥800	無料

*障がい者手帳をご提示の場合、ご本人と付き添いの方1名は無料。
*学生の方は、学生証等の在籍が確認できるものをご提示ください。

YOKU MOKU MUSEUM ヨックモックミュージアム

〒107-0062 東京都港区南青山 6-15-1 TEL 03-3486-8000

【アクセス】

東京メトロ表参道駅 B1 出口より徒歩 9 分 / 渋谷駅東口 51 番のりば
都営バス「01 系統」乗車「青山学院中等部前」下車徒歩 1 分
*駐車場はございません。

@yokumokumuseum

@yokumoku_museum

